

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 12日

事業所名 スケッチブック有田

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|--|----|--|---|-----------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | 1 | 事故やトラブルにならないように、パーテーションで区切り遊ぶスペース等の確保をしている。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 8 | 0 | 定められた配置人数以上利用児の障がい特性に合わせて、配置数を確保している。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 8 | 0 | 人工内耳や補聴器の装用が必要なため、転倒がないようにしている。 | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 8 | 0 | 日々の記録や毎日のミーティングで、利用児の振り返りをおこなっている。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | 0 | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 2 | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 7 | 1 | 年間を通し、外部からの講師にも研修や評価を行い、必要に応じてアドバイス等も貰っている。 | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 8 | 0 | 全体研修以外にも、必要に応じて事業所内での研修を行っている。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | 0 | アセスメントシート、家庭調査表、聴カレベルを半年に1回記入していただいている。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 8 | 0 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 8 | 0 | ミーティングで提案を全体に示し、意見を広く集めてから決定している。 | 案を出して、意見を出し合ってから改善のサイクルで実施。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | 0 | 利用児が楽しんで活動に取り組めるように、広くアイデアをスタッフ全体から募っている。 | ミーティングで改善点を確認。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 7 | 1 | 社会資源の利用等で平日はルールやマナーを練習して、長期休暇で実践するようにしている。 | 郊外活動の実施。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | 0 | 自尊心や達成感を考えて、チーム分けや内容の工夫をしている。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | 0 | 毎日ミーティングで確認している。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 8 | 0 | 毎日のミーティングで必ず支援の振り返りを行っている。 | 欠勤日の内容は次の出勤日に連絡を受けている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | 0 | | |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 8 | 0 | 相談支援員との3か月毎のモニタリングと保護者と半年毎のモニタリングで見直しを行っている。 | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 8 | 0 | | 研修等で確認しながら行っている。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--------|----|-----|--|-----------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 8 | 0 | 指導員からの利用児の情報を吸い上げ、全体でまとめてから代表して参画している。 | |
| | 21 | 8 | 0 | 毎日の担任との引継ぎで、情報共有を確実にを行うためにメモを必ず取り、各利用児の連携を行っている。 | |
| | 22 | 8 | 0 | 受け入れ態勢はあるが、現在該当する利用児がいない。 | |
| | 23 | 8 | 0 | 児童発達支援事業所との情報交換に努めている。 | |
| | 24 | 8 | 0 | 情報の提供や共有の準備はあるが、現在該当する利用児がいない。 | |
| | 25 | 7 | 1 | 定期的な専門家や外部講師の助言や指導は受けている。 | |
| | 26 | 6 | 0 | コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策により、その機会がとても少なくなっている。 | 夏祭りにおける兄弟児など。 |
| | 27 | 7 | 1 | さわら障がい福祉ネットワーク等に参加している | |
| | 28 | 8 | 0 | 送迎時を利用して、保護者と共通理解が持てるように努めている。 | |
| | 29 | 6 | 0 | 手話や指文字でのコミュニケーションの必要に応じて、送迎時のスタッフ配置や利用児の様子を手話等も使い伝えるように努めている。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 8 | 0 | 変更があった場合は、丁寧な説明に努めている。 | |
| | 31 | 8 | 0 | スタッフ間で情報を共有してから、必要な助言や支援を行うようにしている。 | |
| | 32 | 4 | 4 | 保護者会がない。 | 夏祭り時に保護者交流ができています。 |
| | 33 | 8 | 0 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | |
| | 34 | 6 | 0 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 定期的な会報の発行を目指す。 |
| | 35 | 8 | 0 | 個人情報に十分注意している | |
| | 36 | 8 | 0 | あらゆる手段でお互いの意思の疎通ができるように、視覚的に表すことを意識し、手話、口話、筆談等を行っている。 | |
| | 37 | 5 | 3 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 夏祭りや長期休暇中の行事に参加や参観をしてもらう機会を設けていく。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|----|-----|---------------------------|--------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 8 | 0 | | |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | 0 | 年3回の避難訓練の実施。 | |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | 0 | 全スタッフ虐待防止の研修参加。 | |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 4 | 4 | 身体拘束は基本的に行わない。 | |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 8 | 0 | アセスメントシートに保護者より記入してもらい対応。 | |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | 0 | スタッフ全員で回覧しミーティングで情報を共有。 | |